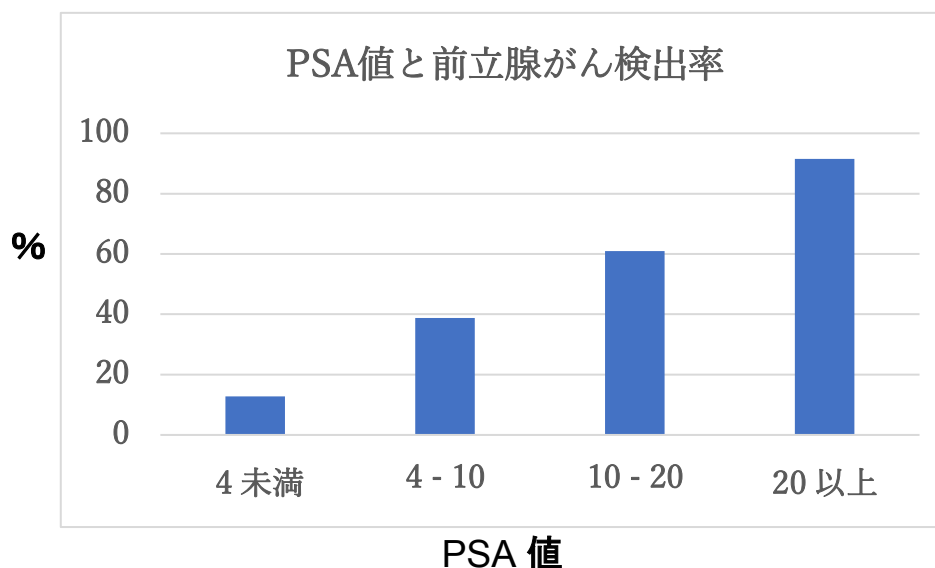


2019年4月 「前立腺PSA外来」 開設のご案内

前立腺がんは、近年の高齢化社会の進行に伴い急速に増加しています。とくに65歳以上の男性においては、胃がん、肺がんを抜いて一番多いがんとなっています。一方、死亡率は診断と治療法の進歩により減少傾向にありますが、2016年には約1万人の方が亡くなっています。

前立腺がんは、ほとんど自覚症状が無く、ひそかに進行します。早期に発見する方法は、PSA(前立腺特異抗原)の採血検査しかありません。このPSA検査は少量の血液で検査ができ、三重大学腎泌尿器外科の統計ではPSA値4から10でも約40%のがん検出率であり、20以上では90%の確率でがんが検出されます。



このように PSA 検査は鋭敏で有効な検査ですが、PSA 値が上昇しないがん(2-3%)もあります。PSA 検査の基準値は4ng/ml ですが、4 を超える方は精密検査をお勧めします。精密検査としては、まず侵襲の少ない、腹部からの膀胱・前立腺エコー検査と前立腺 MRI による画像診断を行います。そして、がんの疑いが強い場合にのみ、前立腺生検を行い、生検による合併症の不利をできる限り回避するようにしています。

前立腺がんの生涯罹患リスクは、2025年には15% (6-7人に1人)になると予測されています。前立腺がんは、早期発見により非常に良好な予後が得られます。50歳を過ぎれば、まず一度はPSA検査を受けていただき、ご自分のPSA値(基礎値)を知る事が重要です。たとえ基準値以下のPSA値でも年齢に比してPSA値が高い方は、定期的なPSA測定による経過観察が必要です。このように、前立腺がんPSA検診は、受診者の年齢が最も重要な要素であり、各個人に最適な検診方法(オーダーメイド検診)が必要です。十分にPSA検診の意義(利点と欠点)をご理解いただいた上で、検診を受けられることをお勧めします。

当院では、2019年4月より総合健診科にて専門医による「前立腺PSA外来」(予約制)を開設します。既にPSA値の異常を指摘されておられる方、ご家族に前立腺がんの見える方、PSA検診について詳しい説明を受けたい方は、お気軽に受診していただければ幸いです。

※当院で健康診断を受診された方は選定療養費3,240円がかかりませんが、当院で健康診断を受けていない方は選定療養費3,240円が初診時に加算されます。

受診(予約)窓口：総合健診科予約 電話：0120-156-052 (フリーダイヤル)
担当：水谷、新田まで

担当：三重大学医学部腎泌尿器外科 名誉教授 杉村芳樹